

## 市内経済の活性化と市内業者育成のために、住宅改修工事助成の対象を拡大し、工事は市内業者、もしくは「原則」市内業者とすることを求める決議

景気低迷が続くもとで、「仕事がほしい」という市内業者の声は切実さを増している。このような時期だからこそ、町田市がおこなう契約や発注をはじめ、市が補助金を出す事業についても、市内業者を優先することが求められている。

住宅改修工事助成は、助成額1150万2千円に対して、工事総額は6574万8887円となっており、助成額の5・71倍と大きな経済効果がある（2010年度）。しかし、2009年度は助成件数62件に対して、市内業者がおこなった工事は16件（25・8%）。2010年度も助成件数65件に対して、市内業者がおこなった工事は31件（47・6%）と、市内業者に仕事が充分まわっていない状況がある。

東京都と神奈川県で、現に制度があるところ、今後制度を開始する自治体は町田市を含め16区市町だが、町田市以外のすべての自治体では、補助対象の工事は自治体内の業者、または「原則」自治体内の業者としている。住宅改修工事助成について、市内業者からは「市内業者を優先してほしい」という強い要望がある。

また、他の自治体では「地域経済の活性化」「住宅の長寿命化」の観点から、建具やサッシ工事、クロスの張り替えや畳替えなどについても助成対象としているが、町田市でも助成工事の拡大が必要である。

このことは、市民も喜び、地元業者に仕事がまわり、市内経済の活性化となる。

よって、町田市議会は、町田市に対し、市内経済の活性化と市内業者育成のために、住宅改修工事助成の対象を拡大し、工事は市内業者、もしくは「原則」市内業者とすることを求めるものである。

以上、決議する。